

A-11 たけ よこぶえ つく えんそう 竹で横笛を作って演奏してみよう

竹を切り出して横笛を作り、調律して曲が演奏できるように仕上げてみよう。音を聞きながら音程を合わせるので、吹けないと作れない。

1. 作り方

材料となる竹は農業系ホームセンターで市販されている。特殊な工具類は使用しなくとも作れるが、最低限、孔を開ける錐と切断する鋸、ナイフが必要。

まず竹材を選ぶ。丸くてまっすぐな竹がよい。細い竹の方が高い音がよく出る。竹材を選んだら節から測って切る。切る前に、竹の長さに対して垂直な面が切断面となるようしっかりと切断線を引く。

一番上の節を残して途中の節を抜く。次に、図1のように寸法通りに歌口と指孔の位置に少し小さめに孔を開ける。正しい音階の「ド」の音が出るように歌口の形を吹きながら整える。歌口を大きくすると音が高くなる。「ド」の音がだいたい調律できたら、次は「レ」というように低い音から順に音の高さを調節する。吹きながら少しずつ孔を広げて正しい高さの音が出るようにする。孔を大きくすることはできるが小さくすることはたいへんむずかしい（たぶんできない）ので慎重に広げること。低い音から順に、全体をおおまかに調律してから、もう一度低い音から順次正しい音程に調律する。

2. 吹き方

「フ」と言うときの唇の形をつくり、歌口の向こう側で息を2つに分け、半分を管内に吹き込むような気持ちで吹く。細く強く吹くとオクターブ高い音が出る。指の使い方はフルートと同じ。音が出るようになったら好きな曲を演奏してみよう。

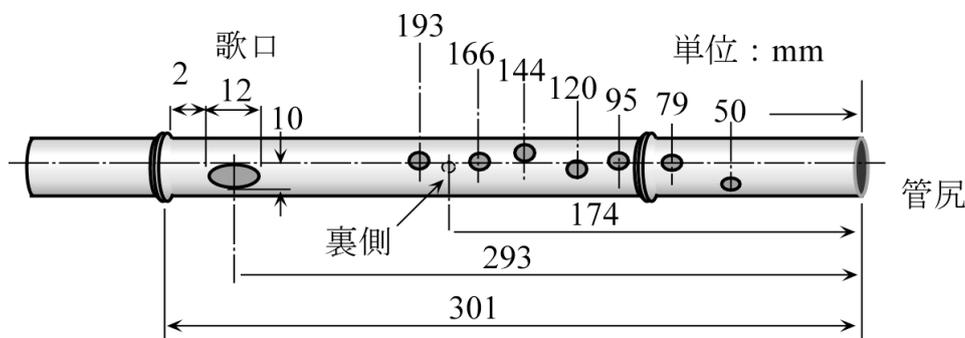


図1 竹笛 (C管) の寸法

